

沖縄県久米島町

「農作物の地産地消による離島の活性化」

実施団体: 久米島町、NPO法人くめじま、日本電気(株) 等

■ 農産物の地産地消システムの構築により、新たな農業収入を創出。

地元農家と地元ホテル・レストランがタブレットなど用いて簡単に地元の野菜を売買できるオンラインショップを開設。農家1戸あたり約4,000円/月の農業収入を創出し、地元農家の生産意欲向上に寄与。

■ 地産地消システムで使用するWi-Fiインフラを観光アプリの提供にも活用。

観光客の周遊性を向上させるため、AR(拡張現実)技術を活用したスマートフォン向け観光アプリケーション「久米島観光ナビ」を構築。Wi-Fiインフラを観光アプリケーションの提供にも活用。

事業の概要

本事業は、農業従事者の高齢化等により地元野菜を中心とした農業売上高が年々減少している沖縄県久米島において、地元農家からの野菜の出荷情報と、地元のリゾートホテルやレストランからの注文情報をオンラインショップ上でマッチングし、従来は捨てていた野菜からの販売収入の創出を図ったものです。また、Wi-Fiインフラを観光アプリの提供にも活用し、観光客の増加の実現しました。



<農産物の地産地消システム>

地元の農家と、地元のリゾートホテルやレストランが簡単に地元の野菜を売買できるオンラインショップを開設しました。地元の農家にとっては、これまで規格外などの理由で捨ててしまっていた野菜を買ってもらえるようになり、また、ホテルやレストランにとっては、これまで島外から買っていた野菜を地元産で賄えるようになりました。



地産地消システムの画面



注文状況の確認



野菜の集荷

<観光アプリの提供>

久米島を訪れる観光客の周遊性を高めるため、AR(拡張現実)技術を活用したスマートフォン向け観光アプリケーション「久米島観光ナビ」を構築し、観光客に提供しました。地産地消システムで使ったWi-Fiインフラを観光アプリケーションの提供にも活用し、観光客の利便性を向上させました。



久米島観光ナビの画面



カメラを使った観光スポットの検索

自治体担当者の声：久米島町プロジェクト推進室

- 実証事業に対する感想を教えてください -

以前より、島内を車で走っているときに、農家の畑に野菜が廃棄されている状況をよく目にしており、何とか利用できないものかと考えていました。また、ちょうどその頃に、地元のホテルの支配人から「地元農作物を使った料理を作って観光客にアピールしたい」との相談を受け、案件の具体化の検討を始めたのが本事業のきっかけです。

初年度の売上げとしての成果は、1戸あたり4,000円/月というお小遣い程度のものに過ぎませんでしたが、高齢者が多い農家にとって、生産意欲の向上に繋がるとともに、地元のホテルやレストランにとっては、地元農作物を使った料理のPRにも繋がり、地元の農家とホテル双方にとってWin-Winの関係を構築することができました。

今後は取扱い量を順次増やしていくとともに、できるだけ島内の若い人たちにも、この取組に参加して欲しいと考えています。



プロジェクト推進室
室長 中村 幸雄氏

- 成功のポイントを教えてください -

農産物の地産地消システムに関しては、地元のNPOと、事業に参加頂いた農家の皆様の協力がなんといっても成功のポイントです。

「NPO法人くめじま」には、地元のホテルやレストランなどの販路を自発的に開拓して頂いたり、地元農産物のPRのためのチラシを作成・配布して頂いたり、非常に機動的・精力的に活動して頂きました。

また、NPOを中心に皆が参加し、農産品の集荷や配達、新製品の開発など、行政の手を借りずに自主的に活動されたことも、成功の大きなポイントだったのではないかと思います。



Point

- ✓ 農家と地元ホテル・レストランのニーズのマッチング
- ✓ 地元で活動するNPO法人の活躍

今後の課題

事業の自立的運営のために、取引規模の拡大、取扱商品の高付加価値化が必要

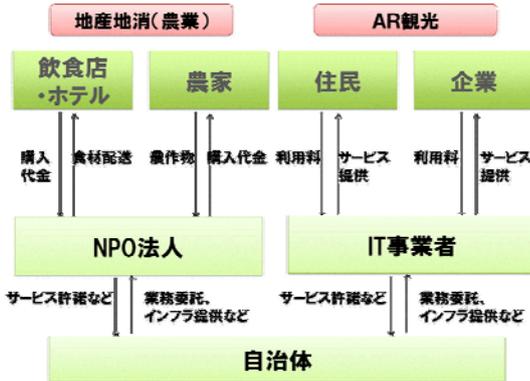
農産物の安定供給のために、提携する生産農家の拡大と保存設備等の整備

対策・展望

島外や県外も含めて、売り先を50団体に増やすことを目指し計画中

「NPO法人くめじま」が中心となり、生産農家の拡大と設備投資を推進中

事業実施体制



導入/運用費用

<地産地消システム部分のみ>

導入費用 約10百万円/自治体
 (内訳: システム構築・カスタマイズ 約5百万円
 タブレット等物品購入 約1百万円
 調査・企画、人材育成支援等 約4百万円)

運用費用 約70万円/年
 (内訳: クラウドサービス利用料等
 (タブレット端末の通信費用除く))

※上記はあくまで久米島町における事例を基に試算したものであり、実施エリアによって導入/運用費用は異なります。

お問合せ先

沖縄県久米島町は、沖縄本島から西に約100kmに位置する離島です。沖縄県内では5番目に大きな島であり、サトウキビの生産を中心とした農業やダイビングなどを目的とした観光産業が盛んです。

また、近年では、海洋深層水を利用した保養施設の建設や食品の開発なども進められています。

2005年からは、プロ野球の楽天ゴールデンイーグルスのキャンプ地としても知られるようになっていきます。



久米島町のPRイベント

本事業実施の報道発表
(沖縄県庁にて)



久米島町役場 プロジェクト推進室
 〒901-3193 沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870番地
 TEL 098-985-7122